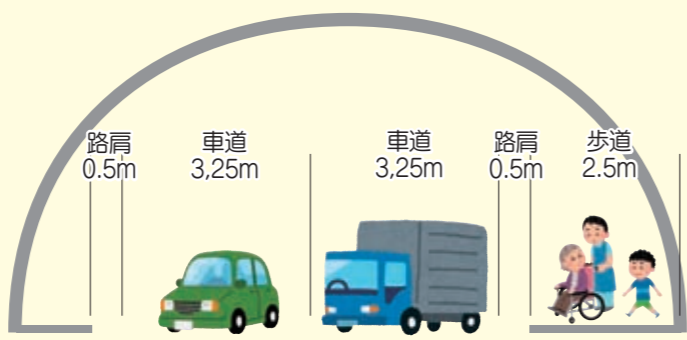


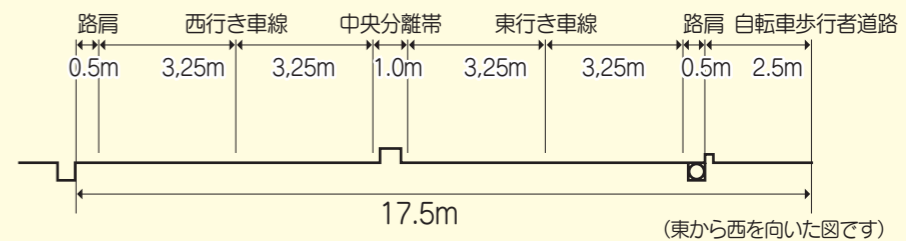
新しい東行きのトンネルには歩道がつきます。



(東から西を向いた図です)

車両が安全に停止できるよう、交差点を急勾配を避けた西側に移動します。

車道に中央分離帯が連続して設置されます。



(東から西を向いた図です)

# 府道小倉西舞鶴線・白鳥トンネル 4車線化を進めます

## 安全で円滑な交通の確保へ

※現在の計画であり、一部変更になることがあります。

### 計画概要

- ◆道路延長 約1.4キロメートル(トンネル区間333メートル)
- ◆区間 森上安の東西間
- ◆車線数 4車線(片側に歩道あり)
- ◆総幅員 17.5メートル

府道小倉西舞鶴線は、東西市街地を最短経路で結ぶ、まちづくりに欠かせない道路です。しかし、現在、白鳥トンネル前後の区間は、特に交通が集中するため、慢性的な渋滞が発生しています。また、幅員が狭く、歩道もないため、自転車や歩行者の安全な通行に支障を来しています。現在、これらの課題を解消し、安全で円滑な交通の確保を図るため、新たなトンネルを築造して4車線にする事業を京都府が進めています。その整備計画の概要と進捗をお知らせします。

### 主な整備効果

◆安全な通行の確保 現在の白鳥トンネルは、築造から60年以上が経過していることから老朽化による劣化が著しく、また、自転車・歩行者の事故や大型車両が天井へ接触する危険性があるなど、十分な幅員や高さが確保できていないと難しい状況です。

このため、新トンネルには歩道を設置するとともに、現在のトンネルについても、車両が安全に通行できるよう幅員の整備などを行う予定です。

◆渋滞緩和による東西市街地の一体化を促進 白鳥トンネルの前後区間は、市道北吸森線や市道上安天台線からの車両の合流によって、特に交通が集中する区間であることから、慢性的な渋滞が発生しています(交通量1日約2万1,000台)。

### 進捗状況

また、府道小倉西舞鶴線は、災害時の緊急避難路としても重要であるため、より円滑な交通の確保が求められています。4車線化により渋滞を緩和し、交通の流れを確保することで、人・物の交流を一層促進し、東西市街地が一体となった活力あるまちづくりに寄与します。

現在、事業用地の取得に向け、府において用地

交渉が進められており、用地取得が完了次第、平成31年度にはトンネルの掘削工事に着手できるよう取り組んでいきます。市では、一日でも早い完成を目指して、引き続き京都府と連携しながら、事業の推進を図っていきます。また、工事の進捗については、広報まいづるなどを通じて、随時お知らせしていきます。

《国・府事業推進課》



▶交通量が多く慢性的な渋滞が発生



▶現在のトンネル付近は、幅員が狭く歩車道が分離されていないため危険